

没後60年記念特別展

川喜田半泥子の 俳句と轆轤

―秋風のふくよろくろのまわるまま―

2023

9/9 SAT

→ 11/12 SUN



自画像 川喜田半泥子筆・自賛 個人蔵

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<https://sekisui-museum.or.jp/>

主催：公益財団法人石水博物館

協賛：株式会社百五銀行

三重トヨペット株式会社



開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)

休館日／毎週月曜日[但し祝日の場合は翌平日]

(9月18日、10月9日[月・祝]は開館、9月19日、10月10日[火]は休館)

入館料／一般500円[400円]・学生300円(中学生以下無料)

※[]内は20名様以上の団体料金

没後60年記念特別展

川喜田半泥子の俳句と轆轤

―秋風のふくよろくろのまわるまま―

当館の創設者川喜田半泥子(1878～1963)は、百五銀行頭取ほか数々の企業の要職を務めた財界人であり、近代を代表する趣味の陶芸家としても知られています。

陶芸は誰にも師事しなかったとされていますが、俳句は桑名の梶島一藻(1883～1947)が主宰する俳句雑誌『かいつむり』の同人となって数多の句を詠み、洒落な句画賛をのこしています。

没後60年を記念する本展では、俳句と陶芸の作品より、無心の境地から生まれた半泥子芸術の世界をお楽しみいただきます。



茶碗図 半泥子筆・自賛 個人蔵



千歳屋図 梶島一藻筆・半泥子賛 館蔵



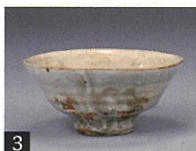
藁塚図 半泥子筆・自賛 館蔵



1



2



3



4

1 灰釉匂入茶碗 銘 月の顔 半泥子作 館蔵

2 黒筒茶碗 銘 すず虫 半泥子作 個人蔵

3 粉引茶碗 銘 夏の月 半泥子作 館蔵

4 白掛茶碗 銘 しら菊 半泥子作 個人蔵



轆轤をまわす半泥子

記念企画1 《半泥子の作品に触れてみよう!!》

いつもは展示ケース越しにしか見られない半泥子の茶碗を、置の上で手に取ってご鑑賞いただけます。

開催日時: 10月14日(土)、10月15日(日)

各日①10:30～ ②11:30～ ③14:00～ ④15:00～

各回30分程度

会場: 石水博物館2階 多目的室

参加方法: 電話にてお申し込みください(059-227-5677)。

定員は各回4名様・申込先着順・1名様1回限り

作品保全のため学芸員のガイドに従ってご鑑賞ください。

参加費: 入館料+参加費500円(保険込)

記念企画2 《紅梅閣ツアー》

半泥子が昭和5年に建立した千歳山内の「紅梅閣」へご案内します。

開催日時: 10月26日(木)、27日(金)、29日(日)、31日(火)、11月1日(水)、2日(木)、4日(土)

各日14時～1時間程度

参加方法: 電話にてお申し込みください(059-227-5677)。

定員は各回30名様・申込先着順・1名様1回限り・雨天中止
軽い登山です。歩きやすい靴と服装でご参加ください。

参加費: 入館料+参加費500円(保険込)

記念企画3 ギャラリートーク 担当学芸員が展覧会をご案内します。

開催日時: 9月15日(金)、24日(日)、10月9日(月・祝)、22日(日)、11月3日(金・祝)、11日(土) 各日14時より30分程度

参加方法: 申込は不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。

参加費: 無料(当日の入館料のみ)

次回展覧会 館蔵名品展

《奥田竹石と三重の近代絵画》

会期: 11月18日(土)～2024年1月28日(日)

展示替休館 11月13日(月)～17日(金)

展覧会図録(A5判 56頁 税込600円)を刊行します!



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分・近鉄南が丘駅より徒歩約25分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を左折、約300m先左側。(駐車場 15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<https://sekisui-museum.or.jp/>